

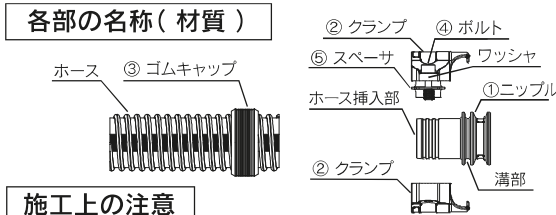
TC6-FE型 トヨコネクタ® 取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。 ⚠ 警告 … 死亡または重傷を負う可能性がある状態

トヨコネクタを、「正しくお使いいただくため」の説明です。
ホース単品同様、ご使用にあたっては制限がありますので下記の注意事項を必ずお守りください。
万一、お守りいただけない場合は、負傷・物的損害の発生する恐れがあります。

トヨコネクタ TC6-FE型（以下、継手と記載）は、トヨフーズアースホースとトヨトップ-E100℃ホース専用継手で。
適合ホース以外でご使用された場合、抜け・漏れ等が発生する恐れがあります。

各部の名称（材質）



材 質

- ① ニップル: SUS316L
- ② クランプ: SCS14 (SUS316相当)
- ③ ゴムキャップ: 導電EPDM
- ④ ボルト: SUSXM7 (SUS304相当)
- ⑤ スペーサ: ポリアセタール
ワッシャ (TC6-FE50のみ) : ポリアセタール
ボルトネジ部の潤滑剤: NSF " H1 " 登録グリース

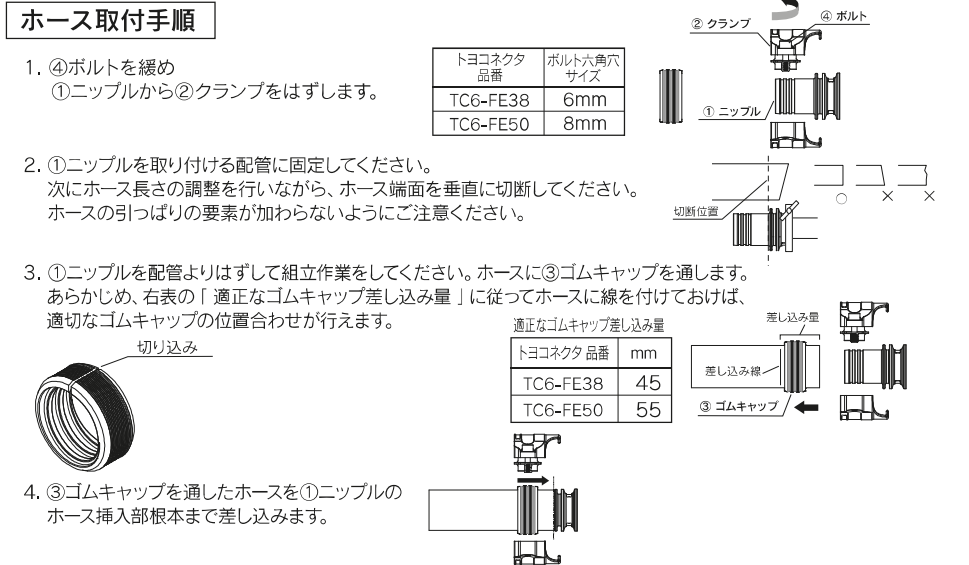
- ### 施工上の注意

 - △ 注意 日々の分解洗浄用継手ではありません。
 - △ 警告 ホース交換・継手の分解作業は、継手が常温まで冷えた状態で作業してください。火傷や継手を傷める恐れがあります。
 - 1. ホースカットの際は、ホース端面が垂直になるようにカットしてください。
ホース屑、糸屑、硬線がホース内に入らないように注意してください。
 - 3. 継手付近にホースの曲げ応力がかからない様に、ホース長さを十分確保してください。
 - 4. ホース挿入部の根元までホースが挿入されている事をご確認ください。
 - 5. △ 警告 ホースを挿入する際に、ホース挿入部表面に油等を塗らないでください。ホース抜け発生の原因になります。
 - 6. 各部品への向きを確認後、クランプを締め上げてください。
 - 7. 締め付け時に工具の滑りによるケガをしないようご注意ください。
 - 8. ボルト2本を交互に均等に締め込み、すき間がなくなるまで締め上げてください。
すき間がある状態でご使用されますと流体漏れやホース抜けによるトラブルが発生します。
ボルトを締め込む際には、インパクトドライバーを使用しないでください。クランプのネジが破損する場合があります。
△ 注意 片よりの締め付けでは、締め切りできません。
 - 9. △ 注意 クランプのネジ部には「偶発的に食品と接触する可能性のある箇所」で許諾される「NSF “ H1 ” に登録された潤滑剤（極圧グリース）を塗布しています。
 - 10. △ 注意 締め上げの際に、まれに樹脂や金属の削り粉（又は糸状の物）が発生する場合があります。
十分に取り除いてからご使用ください。
 - 11. △ 注意 クランプとニップルが接触していない場合は、帯電してスパーク（火花）が発生する恐れがあります。

ホース取付手順

- ④ボルトを緩め
①ニップルから②クランプをはずします。
- ①ニップルを取り付ける配管に固定してください。
次にホース長さの調整を行いながら、ホース端面を垂直に切断してください。
ホースの引っぱりの要素が加わらないようご注意ください。
- ①ニップルを配管よりはずして組立作業をしてください。ホースに③ゴムキャップを通します。
あらかじめ、右表の「適正なゴムキャップ差し込み量」に従ってホースに線をつけておけば、適切なゴムキャップの位置合わせが行えます。
- ③ゴムキャップを通したホースを①ニップルのホース挿入部根本まで差し込みます。

トヨコネクタ 品番	ボルト六角穴 サイズ
TC6-FE38	6mm
TC6-FE50	8mm



- ②クランプを①ニップルの溝部に合わせて仮り組みします。
※ ④ボルトから⑤スペーサが脱落した場合は、⑤スペーサを④ボルトに取り付けてから②クランプを仮り組みしてください。（図1）
- ②クランプ2本を交互に均等に締め込み、すき間がなくなるまで締め上げてください。
②クランプフック部と①ニップル溝部が接触するように締め上げてください。（図3）すき間があり締め切りできない場合は、時間を置いてからクランプのすき間がなくなるまで必ず増し締めしてください。（図2）
△ 注意 片よりの締め付けでは、締め切りできません。
△ 注意 ボルトの締め上げには “ 六角レンチ ” 長さ180mm以上（TC6-FE50は、200mm以上）をご使用ください。
△ 注意 締め上げの際に、まれに樹脂や金属の削り粉（又は糸状の物）が発生する場合があります。十分に取り除いてからご使用ください。
- 配管には市販サニタリークランプを使用して固定してください。ホースにねじれがないように配管に取り付けてください。
△ 注意 配管内の洗浄作業は必ず実施してください。（各配管接続後）

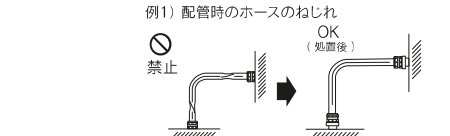
- ### 使用時の注意

 - 本製品は、トヨフーズアースホースとトヨトップ-E100℃ホースの専用のホース継手です。他社ホース及び適合ホース以外に接続された場合は、性能を十分に発揮、維持できない場合がありますので何ら保証はいたしません。（適合ホース品番：TFE、TPE100C）
 - 適合ホースの使用温度範囲内及び使用圧力範囲内でご使用ください。
 - 負圧使用可能ホースを負圧でご使用の場合、用途・条件（温度・動き等）によってはご使用にならない場合があります。
 - 継手付近で、ホースを極端に曲げた状態で使用しないでください。ホースの最小曲げ半径より大きい曲げ半径でご使用ください。
 - △ 警告 ホース内に流体を通しての時は、継手の組立・分解作業はしないでください。
流体漏れやホース抜け発生する恐れがあります。
 - 振動や衝撃の起こる場所では使用しないでください。継手の破損やホース抜け発生する恐れがあります。
 - ご使用中は、継手部からのホース抜けや流体漏れ、ボルトのゆるみが発生していないか始業点検・定期点検を実施してください。
 - ホースや継手の内面以外を流体（食品等）に接触させないようにしてください。ホース補強層に流体が浸透したり、継手部に流体が残り、雑菌の繁殖（付着）、ホースの劣化が発生する恐れがあります。また、外面に付着したほこりやホースの断片（補強材）、印字インクが混入する恐れがあります。
 - △ 警告 下記の用途での配管には使用しないでください。継手破損、ホース破裂、ホース抜けが発生する恐れがあります。
 - 電磁弁配管等での配管内に衝撃がかかる配管
 - 継手部に振動及び衝撃が加わる箇所
 - 使用最高温度を超える用途
 - 常にホースに引っ張りの応力がかかる用途
 - ホースに帯電するような用途（感電する危険があります）
 - ご使用前にホースの静電気防止帯と継手が導通していることをテスター等で確認してください。
お持ちの機器によっては、導通確認ができない場合があります。10⁹Ωまで測定できる機器を推奨します。
 - 使用前には、必ずホース内面の滅菌・殺菌作業をしてください。（商品出荷時は殺菌処理はしていません。）
 - 洗浄時には、硬いブラシ等で表面をこすらないでください。部品表面に傷が付き雑菌が溜まる恐れがあります。
 - 直射日光の当たらない、温度及び湿度の低いところで保管してください。また、継手内に異物、ホコリが入らないよう保管してください。
 - 廃棄の場合は、それぞれの地域の分別処理に従ってください。

- ### 継手の再利用とホース交換に関する注意

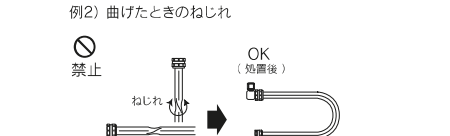
 - 本製品の再使用時には、各部品の損傷がないことを確認後、使用してください。必ずゴムキャップ（導電EPDM）を交換してください。
必ずクランプとボルトのネジ部に市販の潤滑剤（極圧グリース）を塗布してからボルトを締め上げてください。
「偶発的に食品と接触する可能性のある箇所」で許諾される「NSF “ H1 ” に登録された潤滑剤（極圧グリース）を使用してください。
 - ホース交換時には、必ず継手表面に付着した流体や汚れを取り除いてください。流体漏れやホース抜け発生する恐れがあります。
 - 本製品の再使用時には、必ず新しいホースを使用してください。
 - 使用条件等により異なりますが5回程度の取り外しを目安に部品または新品のクランプセットに交換してください。
 - 継手をハンマー等で叩かないでください。
- ### △ 警告

 - 本製品の流路（内面）の材質はSUS316Lを使用しています。流体の種類によっては腐食や流体漏れが生じる場合があります。
ご使用前にご確認（カタログ、ホームページ記載の耐薬品データ参照）または、フリーダイヤルにてお問い合わせください。
継手外面への流体物の接触に関しても同様にご確認ください。
 - ホースをねじった状態で配管・使用しないでください。ねじれがかかった場合、ホースの内部構造が変形し、「破裂」に至り、危険です。次の例を参考に、適切な処置を講じてください。



例1) 配管時のホースのねじれ

禁止 (ねじれ) → OK (処置後)



例2) 曲げたときのねじれ

禁止 (ねじれ) → OK (処置後)

☐ お問い合わせ・ご相談は
フリーダイヤル
0120-52-3132
お客様相談室まで

Connect to the Future
TOYOX®
株式会社トヨックス
本社 / 黒部 サービスセンター / 東京・名古屋・大阪
ISO 9001 / 14001 認証取得

25.11.1